

モモ摘らい指導会資料

県北農林事務所 伊達農業普及所
J A ぶくしま未来伊達地区モモ生産部会

1 気象経過 (図1)

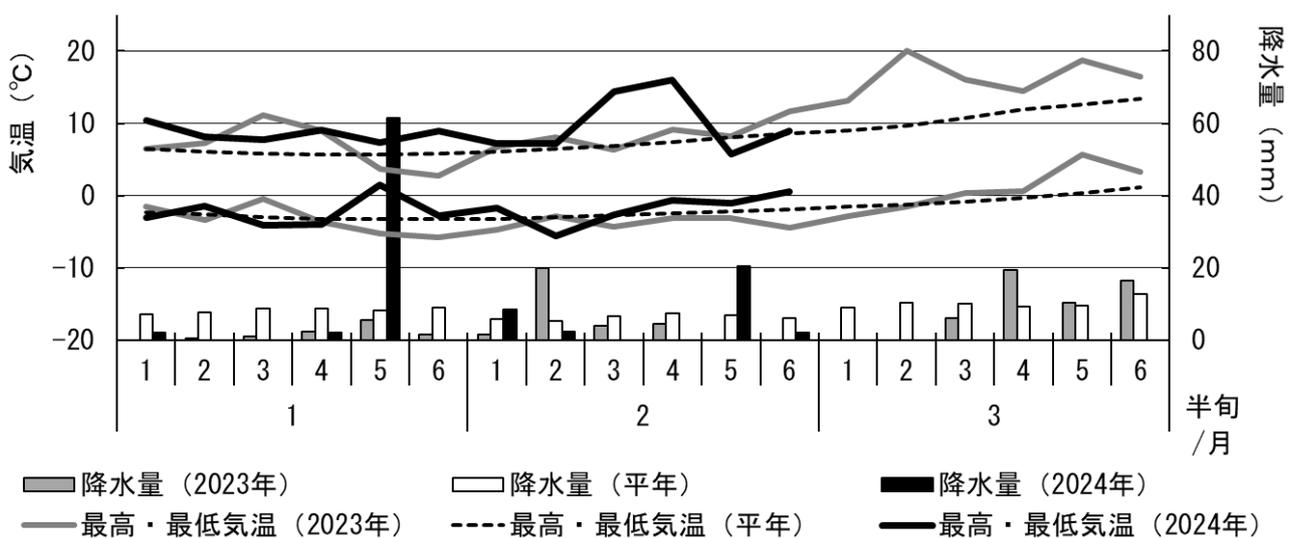


図1 気温と降水量の推移 (観測地点: 伊達市梁川町)

2 生育予想および過去の生育状況 (表1、2)

表1 モモの発芽予測日 (3月1日、農業総合センター果樹研究所)

	過去の発芽日		今後の気温経過ごとの予測日			2週間気温予報による予測日
	昨年	平年	平年並	2°C高	2°C低	
あかつき	3/16	3/24	3/21	3/19	3/25	3/21

※ 発芽日の平年は1991~2020年の平均

※ 2週間気温予報による予測日は、気象庁発表の2週間気温予報の値、および予報期間以降は気温の平年値を用いた場合の予測値

表2 過去の生育状況 (調査地: 桑折町伊達崎)

	発芽				開花始め			
	R5	R4	R3	平年	R5	R4	R3	平年
あかつき	3/16	3/25	3/16	3/23	3/31	4/10	3/30	4/13
川中島白桃	3/16	3/25	3/16	3/22	4/2	4/11	3/31	4/12

※ 平年値は、「あかつき」昭和57~令和5年、「川中島白桃」平成6~令和5年の平均

3 摘らい

(1) 目的

- ア 貯蔵養分の消費を防ぎ、果実や新梢の初期生育を促進させる。
- イ 摘果作業の労力を分散・軽減する。

(2) 摘らいの程度

「あかつき」など、花粉があって結実が安定している品種では、花芽の70%程度を除去する(図2)。

「日川白鳳」「奥あかつき」「ゆうぞら」など、生理落果が多く、結実が不安定な品種では、花芽の50~60%程度を除去する。

「はつひめ」「川中島白桃」等の花粉が無い品種では、人工授粉を必ず実施する前提で、花芽の50%程度を除去する。

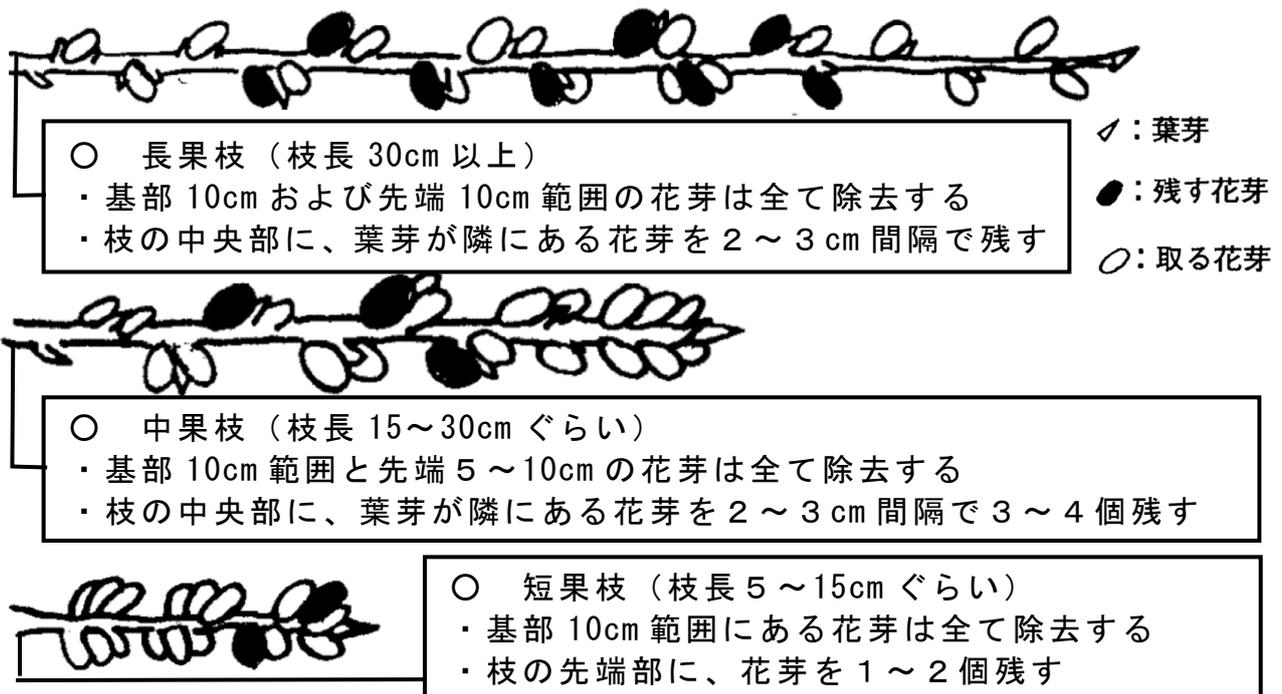


図2 「あかつき」などにおける摘らいの目安(花芽の70%程度を除去)
※ 結果枝を下側から見た場合(下向き~斜め下向きの花芽を残す)

(3) 摘らいの注意点

- ア 果実を下向きに結実させ、日焼けや雨焼けなどを回避できるよう、残す花芽の向きは、枝の傾きに対して、下向き~斜め下向きとする。
- イ 樹勢の弱い樹では、標準より強めに摘らいし、樹勢の回復を図る。
- ウ 主枝や亜主枝の延長枝は下垂を防ぐため、着果させないよう全摘りする。
- エ 発芽期までに終了できなかった場合は、開花期の摘花に至るまで連続して実施する。ただし、開花が近づくと花らいが取りにくくなったり、伸びた葉芽を傷めやすくなるため注意する。

- ◎ 農作業事故や体調管理に注意して、作業をすすめましょう!
- ◎ 農薬は正しく保管、使用し、使用後は忘れず記帳しましょう!
- ◎ 気象災害に備えるため、収入保険への加入を検討しましょう!

◎ 地域計画や農地バンクを活用し、地域農業を守りましょう！